社会福祉法人 父の樹会 広報　第 25 号　2021 年　9 月

法人 父の樹

発行／社会福祉法人父の樹会
〒263-0001 千葉市稲毛区長沼原町 321-2
TEL：043-250-5992　FAX：043-250-5982

就任ご挨拶

理事長　篠塚　勝夫

この度、理事長に就任しました篠塚です。どうかよろしくお願い申しあげます。

理事長に就任して 2 カ月ほどですが、いくつかの言葉を改めて噛みしめています。ひとつは、パラリンピックの父と呼ばれる医師グッドマン博士の「失ったものを数えるな、残されたものを最大限生かせ」。パラリンピック東京大会で躍動する障害者の輝かしい姿とともに、人生のあり方として深く頷くものがあります。それに、長年障害者福祉事業に関わってこられた方から先日ご寄贈をいただいた著書の 2 つの言葉。「この子らを世の光に」（糸賀一雄氏）と「強くなければ生きていけない。優しくなければ生きていく資格がない」（レイモンド･チャンドラー氏）。前者を初めて目にした時、「この子らに世の光を」の間違いではないのかと思ったことでしたが、リタイヤ後１０数年の障害者活動を通じ、この一字の違い・意義を体得するとともに、著者が社会福祉事業に関わることの戒めとされた後者については、理事長職として身の引き締まる思いをしています。

社会福祉法人父の樹会（以下「法人」）は　昭和 62 年に設立され、今年度は 35 年目になります。吉野前理事長は、この間 32 年間の長きにわたり 2 代目理事長を務められ、法人の創業から現在に至る発展に大きく貢献されました。

私は平成 19 年に長い会入会の新参者ですが、千葉大附属特別支援学校（以下「学校」）の宮本初代校長や小出 2 代校長の叱咤激励の下に、昭和 53 年に障害児者の将来を守る父の樹会（以下「長い会」）が発足し、その後法人を設立し、さらに「ひだまり」を開設するといった父の樹会グループの力強い歩みに常々敬服の思いで接してきました。

昨年、娘がＧＨ父の樹にお世話になり、吉野前理事長からの求めに応じ法人運営に関わったものの、高齢で、しかも法人執行体制の若返り・世代交代を何よりも感じていた私が理事長に就任することなどは夢想すらできませんでした。それだけに、これまでの創業期を脱し、新たな時代にふさわしい法人体制に向け執行陣の若返り・世代交代を最大の任務とするつもりです。

就任直後から法人の運営実態を把握するため、職員の方々との面接を優先してきました。第一線で利用者の支援に当たる職員の生の声を聞きたかったからです。障害者の支援は、ご案内の通りコロナ禍が加わって一層難しさを増していますが、職員は真面目に親切に愛情をもって支援に当り、長年の伝統が生き続けていることに意を強くしました。

一方、ごく一部の職場ではありますが、上司への不平・不満等が充満し、しかも吐け口のない実態も残念ながら垣間見えました。また、法人は現在 5 つの事業所で構成していますが、事業所ごとの独自性が強過ぎ、法人としての一体性やスケールメリットが生かされていない現実も知りました。

３２年ぶりの理事長交代を機に、法人の運営体制を基本に立ち返って見直し、改善して行きたいと思います。また、法人は総経費のうち人件費が７～８割を占める、いわば「人の組織」で、「人材」が唯一最大の法人の財産です。今後の法人の存立を決める人材の育成・確保に最大限注力したいと考えています。

利用者・保護者の皆さんはじめ、長い会と学校の皆さん、そして関係者の皆さんのご指導とご支援のほどどうかよろしくお願い申しあげます。

理事監事及び評議員名簿

（五十音順：敬称略）

理事

大原　淳一	ガーデンセブン施設長
小柴　友幸	おおぞら園管理者
篠塚　勝夫	ＧＨ父の樹利用者保護者
田中　章夫	認定 NPO 法人監事
西宮　　仁	保護者、医師
原　　貴子	おおぞら園利用者保護者
平井　紳一	あけぼの園利用者保護者
星野　茂夫	法人本部事務局

監事

猪瀬　義明	元大学教員
須藤　信一	税理士
南　友美子	弁護士

評議員

佐藤　慎二	大学教員
東海林勢津子	あけぼの園利用者保護者
髙崎由美子	父の樹園利用者保護者
川下　謙介	あけぼの園利用者保護者
國井　光男	元千葉県立特別支援学校校長
成澤　義次	ガーデンセブン利用者保護者
松田世紀夫	ガーデンセブン利用者保護者
長谷川正幸	千葉大学附属特支元 PTA 会長
平岡　章子	おおぞら園 GH 利用者保護者
中山　忠史	千葉大学附属特支学校副校長

あけぼの園が創設以来行っているラジオ体操で

健康優良事業所表彰

を受けました。職場での従業員の健康づくりに取り組んでいる 11 事業所に対して、「千葉市健康づくり優良事業所賞」として表彰状を贈り、その取り組みを称える表彰式が、令和３年８月２４日、市役所８階正庁にて開催されました。

主に「職員と利用者でラジオ体操、ウォーキングを行い健康づくりに取り組んでいる。」という特徴的な取り組み内容が評価され受賞しました。

おおぞら園新型コロナウイルス感染のお詫び

この度、おおぞら園において、新型コロナウイルス感染症による 6 名の集団感染（クラスター）が発生し、ご利用者、ご家族様、そして多くの関係者の方々に多大なご心配とご迷惑をお掛けしましたことを深くお詫び申し上げます。

８月９日に新型コロナウイルスの感染者が判明して以降、感染拡大を防ぐためにおおぞら園を閉所し、千葉市保健所、その他の関係機関と連携を図り、消毒、PCR 検査等の感染対策を実施してまいりました。その結果、８月１４日の陽性者の判明を最後に新たな感染者はなく、経過観察期間を終えたことから、今回の感染については収束したとの判断となりました。

今回の感染の検証を通じ、さらに万全を期すとともに、法人内の感染症対策委員会で共有化することで、全事業所での感染防止対策を徹底してまいります。

決算報告

法人単位資金収支計算書

(自) 令和 2年 4月 1日 (至) 令和 3年 3月31日

(単位：円)

勘定科目			予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)
事業活動による収支	収入	0183 就労支援事業収入	19,647,372	18,617,555	1,029,817
		0184 障害福祉サービス等事業収入	754,923,830	770,797,167	-15,873,337
		0198 借入金利息補助金収入	53,217	35,478	17,739
		0199 経常経費寄附金収入	16,521,000	16,612,845	-91,845
		0200 受取利息配当金収入		55	-55
		0201 その他の収入	10,297,600	10,736,161	-438,561
		事業活動収入計(1)	801,443,019	816,799,261	-15,356,242
	支出	0129 人件費支出	551,272,299	553,756,985	-2,484,686
		0130 事業費支出	77,613,455	78,387,328	-773,873
		0131 事務費支出	81,344,886	78,535,149	2,809,737
		0132 就労支援事業支出	21,500,000	21,780,906	-280,906
		0137 支払利息支出	1,584,604	1,564,204	20,400
		0138 その他の支出	5,540,000	8,281,645	-2,741,645
		事業活動支出計(2)	738,855,244	742,306,217	-3,450,973
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)			62,587,775	74,493,044	-11,905,269
施設整備等による収支	収入	0204 施設整備等補助金収入	16,680,000	16,690,000	-10,000
		0205 施設整備等寄附金収入	442,428	442,428	
		0208 その他の施設整備等による収入	148,000	148,000	
		施設整備等収入計(4)	17,270,428	17,280,428	-10,000
	支出	0143 設備資金借入金元金償還支出	16,032,000	16,032,000	
		0144 固定資産取得支出	71,964,150	72,347,579	-383,429
		施設整備等支出計(5)	87,996,150	88,379,579	-383,429
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)			-70,725,722	-71,099,151	373,429
その他の活動による収支	収入	0214 積立資産取崩収入	24,800,625	24,541,752	258,873
		0224 その他の活動による収入		217,782	-217,782
		その他の活動収入計(7)	24,800,625	24,759,534	41,091
	支出	0152 積立資産支出	34,100,000	34,638,625	-538,625
		0162 その他の活動による支出		407,499	-407,499
		その他の活動支出計(8)	34,100,000	35,046,124	-946,124
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)			-9,299,375	-10,286,590	987,215
予備費支出(10)			417,000	—	417,000
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)			-17,854,322	-6,892,697	-10,961,625
前期末支払資金残高(12)			261,323,211	331,863,671	-70,540,460
当期末支払資金残高(11)+(12)			243,468,889	324,970,974	-81,502,085

第二号第一様式（第二十三条第四項関係）

法人単位事業活動計算書

(自) 令和 2年 4月 1日 (至) 令和 3年 3月31日

(単位：円)

勘定科目			当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
サービス活動増減の部	収益	就労支援事業収益	18,617,555	23,295,639	-4,678,084
		障害福祉サービス等事業収益	770,797,167	709,135,806	61,661,361
		経常経費寄附金収益	16,612,845	12,888,037	3,724,808
		サービス活動収益計(1)	806,027,567	745,319,482	60,708,085
	費用	人件費	558,167,858	531,361,689	26,806,169
		事業費	78,387,328	75,475,099	2,912,229
		事務費	78,707,149	61,961,081	16,746,068
		就労支援事業費用	21,623,460	24,700,267	-3,076,807
		減価償却費	59,949,014	56,139,154	3,809,860
		国庫補助金等特別積立金取崩額	-18,988,665	-18,425,182	-563,483
		サービス活動費用計(2)	777,846,144	731,212,108	46,634,036
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)			28,181,423	14,107,374	14,074,049
サービス活動外増減の部	収益	借入金利息補助金収益	35,478	53,217	-17,739
		受取利息配当金収益	55	18	37
		その他のサービス活動外収益	10,736,161	26,661,882	-15,925,721
		サービス活動外収益計(4)	10,771,694	26,715,117	-15,943,423
	費用	支払利息	1,564,204	1,625,753	-61,549
		その他のサービス活動外費用	8,281,645	5,953,782	2,327,863
		サービス活動外費用計(5)	9,845,849	7,579,535	2,266,314
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)			925,845	19,135,582	-18,209,737
経常増減差額(7)=(3)+(6)			29,107,268	33,242,956	-4,135,688
特別増減の部	収益	施設整備等補助金収益	16,690,000	20,000,000	-3,310,000
		施設整備等寄附金収益	442,428		442,428
		特別収益計(8)	17,132,428	20,000,000	-2,867,572
	費用	固定資産売却損・処分損	3	2	1
		国庫補助金等特別積立金取崩額(除)		-37,904,206	37,904,206
		国庫補助金等特別積立金積立額	16,690,000	20,000,000	-3,310,000
		災害損失		50,380,000	-50,380,000
		特別費用計(9)	16,690,003	32,475,796	-15,785,793
特別増減差額(10)=(8)-(9)			442,425	-12,475,796	12,918,221
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)			29,549,693	20,767,160	8,782,533
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)		723,657,910	708,770,753	14,887,157
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)		753,207,603	729,537,913	23,669,690
	基本金取崩額(14)				
	その他の積立金取崩額(15)		24,314,000		24,314,000
	その他の積立金積立額(16)		30,000,000	5,880,003	24,119,997
	次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)		747,521,603	723,657,910	23,863,693

第三号第一様式（第二十七条第四項関係）

法人単位貸借対照表

令和 3年 3月31日現在

(単位：円)

資産の部	当年度末	前年度末	増減
0001 流動資産	349,973,762	356,869,255	-6,895,493
1111 現金預金	207,400,115	227,056,851	-19,656,736
1112 現金	281,735	322,471	-40,736
1113 預金	207,118,380	226,734,380	-19,616,000
1131 事業未収金	136,715,693	105,191,700	31,523,993
1133 未収補助金	1,652,272	21,251,866	-19,599,594
1151 商品・製品	1,197,013	1,156,392	40,621
1152 仕掛品	216,976	190,077	26,899
1153 原材料	1,482,939	1,393,013	89,926
1161 立替金	157,072	25,728	131,344
1163 前払費用	1,151,682	603,628	548,054
0002 固定資産	1,501,069,039	1,478,808,385	22,260,654
0003 基本財産	969,617,524	893,452,273	76,165,251
1211 土地	233,030,589	224,543,551	8,487,038
1212 建物	736,586,935	668,908,722	67,678,213
0004 その他の固定資産	531,451,515	585,356,112	-53,904,597
1311 土地		1,537,038	-1,537,038
1312 建物		50,194,237	-50,194,237
1313 構築物	47,429,589	46,524,826	904,763
1314 機械及び装置	2	2	
1315 車輌運搬具	605,259	1,623,309	-1,018,050
1316 器具及び備品	26,448,389	21,931,267	4,517,122
1317 建設仮勘定		15,114,000	-15,114,000
1321 権利	3,766,273	4,104,087	-337,814
1322 ソフトウェア	3,234,379	4,221,814	-987,435
1323 自動車リサイクル預託金	24,210	24,210	
1329 退職給付引当資産	46,265,800	41,959,425	4,306,375
1336 人件費積立資産	104,500,000	128,500,000	-24,000,000
1337 修繕費積立資産	246,726,230	241,726,230	5,000,000
1338 備品等購入積立資産	3,000,000	3,000,000	
1339 工賃変動積立資産	679,000	679,000	
1340 設備等整備積立資産	47,909,697	23,223,697	24,686,000
1333 差入保証金	192,000	512,000	-320,000
1334 長期前払費用	670,687	480,970	189,717

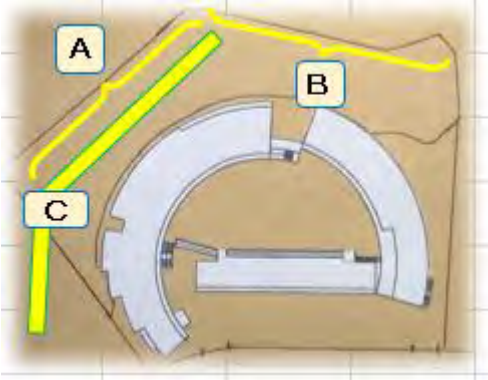
負債の部	当年度末	前年度末	増減
0006 流動負債	38,977,860	38,298,102	679,758
2112 事業未払金	22,070,049	22,226,832	-156,783
2122 1年以内返済予定設備資金借入金	16,872,000	16,032,000	840,000
2133 職員預り金	35,811	39,270	-3,459
0007 固定負債	238,656,800	251,222,425	-12,565,625
2311 設備資金借入金	192,391,000	209,263,000	-16,872,000
2321 退職給付引当金	46,265,800	41,959,425	4,306,375
負債の部合計	277,634,660	289,520,527	-11,885,867
純資産の部			
0009 基本金	144,457,929	144,457,929	
3111 基本金	144,457,929	144,457,929	
0010 国庫補助金等特別積立金	278,613,682	280,912,347	-2,298,665
3211 国庫補助金等特別積立金	278,613,682	280,912,347	-2,298,665
0011 その他の積立金	402,814,927	397,128,927	5,686,000
3222 人件費積立金	104,500,000	128,500,000	-24,000,000
3223 修繕費積立金	246,726,230	241,726,230	5,000,000
3224 備品等購入積立金	3,000,000	3,000,000	
3225 工賃変動積立金	679,000	679,000	
3226 設備等整備積立金	47,909,697	23,223,697	24,686,000
0012 次期繰越活動増減差額	747,521,603	723,657,910	23,863,693
3311 次期繰越活動増減差額	747,521,603	723,657,910	23,863,693
3312 （うち当期活動増減差額）	29,549,693	20,767,160	8,782,533
純資産の部合計	1,573,408,141	1,546,157,113	27,251,028

資産の部	当年度末	前年度末	増減
資産の部合計	1,851,042,801	1,835,677,640	15,365,161

純資産の部	当年度末	前年度末	増減
負債及び純資産の部合計	1,851,042,801	1,835,677,640	15,365,161

ガーデンセブン被災お見舞いへの感謝と災害復旧状況のご報告

令和元年 10 月に起きました台風 21 号豪雨による擁壁崩落被災から早二年が経とうとしております。お陰様で昨年 7 月に建物の修繕工事を終え、ガーデンセブンは通常の運営に戻ることができています。 これも皆様方の心温まるご支援ご協力のおかげと、心より感謝申し上げます。



現在の災害復旧状況をお知らせいたします。 北側から東側へかけて崩れ落ちた擁壁及び土砂については、千葉市の応急工事を終え 仮復旧状態となっておりましたが、今年８月より千葉市建設局発注による新しい擁壁設置工事（災害復旧工事）が開始されています。この工事により、擁壁が崩れ落ちた斜面（Ａの部分）と 崩れなかった斜面（Ｂの部分）へ新しい設計の擁壁が設置されることとなります。 工期は令和４年 2 月末迄の予定です。9 月より重機が入れるよう（Ｃの部分）に仮設の林道を設置しているところです。 9 月中旬からは斜面（Ｂの部分）の古い擁壁を撤去する作業に入る予定です。

ガーデンセブン被災にお見舞いをいただいた皆様

～　誠に有難うございました。　～

青い鳥第二幼稚園様、赤松慧様、あすみ吹奏楽団様、熱田正直様、阿部一雄様、阿部君子様、安倍正二様、阿部泰様、飯野あや子様、池田実穂子様、池野惠子様、石原力泰様、市川健太様、市毛澄江様、伊藤愛様、伊藤彰様、伊藤美惠子様、伊藤靖様、一場真太郎様、井ノ上攻様、猪瀬義明様、井林哲夫様、伊原章子様、岩渕正典様、宇井孝一様、上野守様、内山昌一郎様、江口展之様、大島輝男様、太田唯男様、太田俊己様、大塚英明様、大西久明様、大野忠彦様、大橋清美様、大箸義章様、岡冨貴雄様、岡田桂一様、岡本岐美様、岡本弘行様、小川まゆみ様、小川満様、小倉孝幸様、尾崎敏紀様、押田健一様、小関茂様、オリーブ轟職員親睦会　様、笠野博様、加瀬義明様、方波見知子様、加藤次郎様、(株)オタフク様、(株)北原防災様、(株)ｼﾞｪｲｱｲｼｰ様、(株)セーラント様、(株)メフォス様、鎌田光浩様、川上アヤ子様、川上国男様、川下謙介様、川邊むつみ様、菊地実郎様、菊地光博様、岸田康則様、北澤文子様、北島善夫様、吉川河吉様、木野直道様、経塚和夫様、北田可奈子様、木野本進一様、久我金恵　様、日下介作様、櫛田和貴様、くちなし職員利用者保護者一同　様工藤晃子様、國井光男様、久保井勝義様、久保かおり様、藏部敬子様、けやきグループ様、玄番政子様剱持秀幸様、向後あき子様、小久保由美子様、小芝健二様、小仲井扶弥子様、小早川克己様、小林英三様、小林礼子様、小松和典様、齋藤清司様、斉藤むつ子様、斎藤守洋様、酒川圭司様、坂場智洋様、櫻田睦子様、坂口栄二郎様、佐久間幸夫様、佐々木大輔様、笹舘功様、佐藤慎二様、佐藤すみ子様、佐藤八重子様、佐藤　寛様、佐藤雅信様、篠﨑博志様、篠塚勝夫様、篠原重雄様、柴田克己様、島尾永治様、清水進様、下村康夫様、障害児者の将来を守る父の樹会様、東海林伸佳様、杉田國幸様、鈴木勲様、鈴木一好様、鈴木ス工様、鈴木眞理子様、須郷哲治様、須磨敏人様、須磨友美様、瀬戸雅規様、千田恵一様、曽根正之様、多賀義美様、大同生命社会貢献の会様、髙崎隆次様、髙橋賢司様、高橋正治様、高峯久二夫様、田川正浩様、滝本繁様、田口喜美子様、田口久照様、竹倉一郎様、武田俊男様、竹本圭子様、多田光男様、田中章夫様、田中明美様、田中克己様、田中國昭様、谷川俊克様、田丸功様、田丸誠三　様千葉巖　様、千葉県知的障害者福祉協会様、千葉市手をつなぐ育成会様、千葉市手をつなぐ育成会事業所職員様、千葉西ロータリークラブ様、柄本茂勝様、中央ろうきん友の会千葉地区本部様、津久井早苗様、津端宏様、土佐子ども主体の学校生活づくりを考える会様、土井高昭様、中尾祐　様、仲田利克様、中坪健一様、中坪晃一様、中ノ瀬健一様、中村彰様、中村和弘様、中村均様、名古屋恒彦様、波入正明様、行川陽子様、成澤義次様、西尾裕子様、西嶋順幸様、根本乾一様、野澤清様、橋詰徹　様、橋爪八重子様、橋本竹博様、長谷川進様、長谷川政幸様、長谷川良行様、花澤政幸様、林泰樹様、原ゆきの様、原章文様、春山幹雄様、久井文子様、日高敦子様、平井紳一様、平井留美子様、平岡広充様、フィディス株式会社様、藤本美枝子様、藤原峰暁様、星健二様、細川かおり様、堀塲みち子様、正木志朗様、増田俊様、松井千恵子様、松井祐之様、松谷省吾様、松元良隆様、三田和夫様、宮内秀子様、宮川満千子様、宮﨑幸子様、森利夫様、師尾郁様、八代豊裕様、梁瀬阿礼様、山上展仕様、山口和昌様、山田真理子様、山鳥の会様、山本邦晴様、山本茂様、山本朋美様、山元圭太様、湯浅康彦様、湯本進様、㈲カンダ事務機様、㈲モードテラ様、吉田起世子様、吉田拓様、吉田富美子様、吉満隆様、若勇康仁様、渡邊義久様

第三者委員について

利用者・保護者からの苦情に対応する法人内の組織として「第三者委員」があります。現在、下記の２名の学識経験者の方に委員を引き受けていただいております。

それぞれの事業所毎に「相談日」を設け、ご相談に応じていますので、ご希望の利用者・保護者の皆さんにおいては、ご利用の事業所にご連絡ください。

・向後あき子　委員（元特別支援学校教諭）
・河野　昌永　委員（元特別支援学校長）

父の樹園利用者の皆さんから

―高崎智世さん「コロナ禍に思う」―

早いもので息子智世が千葉大学付属特別支援学校を卒業してから 10 年になります。卒業後、1 年半の一般就労を経て父の樹園に通い始めました。父の樹園には学生時代から日中一時支援や相談支援でお世話になっていたので本人もすんなりと生活を切り替えることができました。非常にこだわりの強い息子ですが、ほめられたり、頼りにされたり、支援員さんのって自信や喜びを体感しているようです。不安定な状態で出かけても、降園時にはリセットされていることが多いです。社会福祉法人父の樹会の各事業所が働く生活を大切にしている意味はこのようなことにあるのかもしれません。母親として少し距離をおいて見守りつつ、この生活が続いてほしいと願う毎日です。

しかしながら、親と同居の生活が永遠に続くことはありません。「親なきあと」についても真剣に向き合っていかなければなりません。世界中が感染症で大変な状況にある中で、「この子の記録」をいま一度見直し、修正して家族で共通認識しなければと考えています。

年を重ねても親としての課題や責任には終わりがないのだと分かってきました。だからこそ、共通のテーマを持つ保護者の方々との活動や交流を今後も大切にしていきたいと思っています。

現在はバス停までの母の見守りをはさんでなんとかひとりで通所しています。父の樹園での生活は、下請作業科でのシーラーの仕事が中心ですが、不定期に施設外作業や納品、パン販売にも参加させていただき、メリハリのある作業活動になっています。夏・高原キャンプや雪遊びツアーといった二泊三日の大きな行事を筆頭に余暇活動も盛んです。コロナ禍で行事の大半は中止となっていますが、日常の作業活動を継続していただき深く感謝しています。感染対策をしながらの支援はとても大変な事と思います。（高崎由美子）

―岡田健さん「みこし担ぎが楽しみ」―

勤続 11 年目になる岡田健です。

高等部での実習がきっかけで、父の樹園に通っています。僕の仕事は金具を決められた数ずつ袋に入れることです。父の樹園でのやりがいは、一年に一度ある夏祭りで職員さんと一緒にみこしを担ぐことです。そのために休まず毎日園に通うことを頑張っています。園にはお母さんの送り迎えで行っています。職員さんや利用者さんとのおしゃべりやおいしい給食があって嬉しいです。

来年もみこしの担ぎ手に選ばれるよう、仕事を頑張りたいです。

（岡田まち子）

私とバドミントン

あけぼの園就労継続支援Ｂ型支援員　尾竹加菜

勤めた当初、「ずっとここで働きたい」と言っていたことが昨日のよう、あれから１０年経っても、気持ちは変わりません。そんな私は今、食品加工科でチップス作りやウエスの下請け作業を行っていて、今年から新しい取り組みとして、千葉県産の旬な野菜やフルーツを使ってチップス作りを行っています。是非、お手に取っていただけたら嬉しいです。

コロナ禍で、旅行やお楽しみ会等様々な行事が中止になり、本当に残念で普通の生活がどれほど素晴らしいものかと考えさせられます。私は昔から体を動かすことが大好きで、中学の頃からずっと趣味だったバドミントンが本格的になり、コロナ前に出たレディースの大会では、県大会、関東予選を勝ち抜いて関東大会に出場しました。結果は予選通過しましたが、リーグ戦で敗退してしまいました。今は練習も試合ももちろんないのでとても残念です。早くコロナが明けてくれると嬉しいですね。

あけぼの園・父の樹園の管理者が交代しました。

あけぼの園管理者に就任した 有川岳英さん

この度、7 月よりあけぼの園管理者に就任いたしました有川岳英（たけひで）です。前任者の星野茂夫同様にどうぞよろしくお願い申し上げます。

私は平成 14 年 4 月 1 日から当法人あけぼの園に採用となり、今年で 20 年目になります。これまでを振り返ってみると、利用者・ご家族の力に少しでもお役に立てればという思いでやってきましたが、皆様の支えがあったからこそ、やっていけたのだと実感しています。

20 年目という節目の年に管理者に就任ということで、誠に微力ではございますが、事業所運営に全力を尽くし、1 人でも多くの利用者・ご家族・職員に「有川が管理者で良かった。」と言ってもらえるよう努力してまいりますので、何卒一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

父の樹園管理者に就任した 鈴木貴彦さん

日頃より当事業所に対しまして、ご利用者の皆様をはじめ、ご家族の皆様や地域の方々にご理解ご支援をいただき心から感謝を申し上げます。

この度、前任の田嶋利高に代わり、７月より管理者を拝命いたしました鈴木　貴彦(すずき たかひこ)と申します。

私は、平成１１年４月に当法人 あけぼの園に採用となり、主に知的に障害を抱えたご利用者の日常生活支援を担当しました。その後、平成１８年９月に父の樹園に異動となり一般就労への就労支援及び生産活動を担当し、現在に至ります。

障害を抱えた方々を取り巻く社会状況は必ずしも理解が進んでいるとは言えませんが、利用される皆さんが自分らしく元気に活動できるように、ご支援できればと考えております。

父の樹園のアットホームで温かい雰囲気を引き継ぎつつ、笑顔の絶えない事業所づくりに努めてまいります。また、微力ではございますが職務に精励して参りたいと存じますので、今後とも皆様方には、ご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げ、管理者就任のご挨拶とさせていただきます。

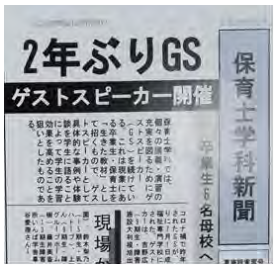
母校成田国際福祉専門学校のゲストスピーカーとして参加しました。

グループホーム父の樹サービス管理責任者
上野就史

私は平成 26 年 4 月から平成 31 年 3 月まであけぼの園で生活支援員として勤務し、平成 31 年 4 月にグループホーム父の樹に異動しました。

先日、私は母校の成田国際福祉専門学校保育士科のゲストスピーカー体験発表として、自身の就職後の体験を学生の方々に話す機会をいただきました。私を含め 6 名のゲストスピーカーが発表していく中で、学生の方々からは様々な意見が挙がりました。その中には、私には思いつかないような支援策もあり、驚かされるとともにとても参考になりました。経験に基づいた考え方も重要で

はありますが、様々な視点、観点から考えることの大切さを改めて実感する良い機会となりました。


2年ぶりGS
ゲストスピーカー開催
保育士学科新聞

管理者（坂場智洋）からひとこと

今回のゲストスピーカーについては、成田国際福祉専門学校の先生が来訪され、直々にご依頼をいただきましてとても光栄なことだと思います。また、上野職員が在学中は優秀だったこともお聞かせいただき、母校からの信頼が厚いことが伺えました。

ゲストスピーカーのような活動を通じ、これから福祉関係を目指す方々の一助となれば幸いですし、ひいては当法人を就職先に検討いただく機会となることにも期待しています。

職員の相談・苦情処理窓口を設置しました

職場での日々の業務を通じ、職場の人間関係や仕事の進め方などでひとりで悩んでおられることや、パワハラ（精神的・身体的暴力）、セクハラ（性的嫌がらせ）などで苦しんでおられることはありませんか。

それぞれの職場において気安く話し合える場があって、問題解決ができれば望ましいのです。しかし、そうでない場合には、ひとりで悩むことなく、気軽の相談できる窓口が必要です。

この度、前父の樹園施設長の「田嶋利高」さん（現在同園支援員）に、相談・苦情処理の窓口を担当いただくこととしましたので、おひとりで悩みこむようなことが無いよう、気安く声を掛けてください。

◆田嶋利高さんのプロフィール◆

前昭和25年2月東京都生まれ（71歳）。平成4年に本会に入会し、同11年から本年6月まで22年間にわたって父の樹園施設長を務められました。

この間、業務の面での活躍はもちろんですが、地域の障害者スポーツの指導者としても大活躍をされてきました。

障害者支援にかかる豊富な経験や温かく包容力のある人柄などから、父の樹園の利用者・保護者はもとより他の事業所利用の保護者や法人内職員、外部の関係者からも大きな信頼を集めています。

◇連　絡　先　携　帯：090-2942-7984
　　メール：ttaje@ezweb.ne.jp

◇相談日･時間帯　原則として「火曜日の午後」とします。ただし、この日程等でご都合の付かない方は、事前にメールでご相談ください。

９月１日付で人事異動を行いました

役　職　員　名	新　担　当　職　務　（　現　職　）
星野　茂夫　理事	理事長特命事項担当理事 （本部事務局担当理事及び事務局長）
大原　淳一　理事	人材育成担当理事兼ガーデンセブン施設長 （理事兼ガーデンセブン施設長）
小柴　友幸　理事	本部事務局担当理事兼おおぞら園管理者 （理事兼おおぞら園管理者）
田嶋　利高　職員	職員からの相談・苦情処理窓口　兼　事業所支援員に対する教育指導担当及び父の樹園支援員（父の樹園支援員）
矢野　奈緒　職員	本部事務局事務職員（あけぼの園兼本部事務局事務職員）
中田　真理　職員	本部事務局事務職員（父の樹園事務職員）
田村　敦子　職員	本部事務局事務職員（ＧＨ父の樹事務職員）
五井　昌子　職員	本部事務局事務職員（おおぞら園事務職員）